

## 修了評価の方法

評価基準作成者：堀川 茂野

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「(2)介護における尊厳の保持・視自立支援」から「(9)こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li><li>・ テキスト第 1 巻「人間と社会・介護 1」P19 以降</li><li>・ テキスト第 2 巻「人間社会・介護 2」</li><li>・ テキスト第 3 巻「こころとからだのしくみ」</li></ul> <p>2 出題形式</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 択一問題は、四肢択一および語群から選択する。</li><li>(2) 記述式問題は、課題について 200 字程度で解答する。</li><li>(3) 択一問題と記述式問題をあわせて評価(試験)時間は 90 分以内とする。</li></ol> <p>3 出題数</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 択一問題 16 問(配点 60 点)、記述式問題 8 問(配点 40 点) 全問正解：100 点満点</li><li>(2) 各科目から択一問題 2 問、記述式 1 問を出題する。</li></ol> <p>4 合否判定基準</p> <p>60 点以上(但し記述式問題で 20 点以上を得点すること)</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 結果発表後、直ちに 1 時間以上の補習を行なったうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は 60 点以上(但し記述式問題で 20 点以上を得点すること)とする。 補習料は無料、再評価料は 3,000 円とする。</li><li>(2) 再評価の上限は 3 回とする。</li><li>(3) 再評価が不合格の者には修了を認めない。但し、初任者研修 130 時間を受講し、修了評価が不合格であった旨を証明する文書を交付する。</li></ol>
------------	--